

レジメン名

Obinutuzumab-B療法

出典 ガザイバ適正使用ガイド2019年10月作成  
トリアキシン適正使用ガイド2022年2月作成  
ガザイバの投与時間短縮投与方法2021年12月作成

## 実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

CD20陽性濾胞性リンパ腫

進行・再発  
補助療法(術前・術後)  
  


## 投与減量の基準

ANC	500/mm <sup>3</sup> 未満	PLT	2.5万/mm <sup>3</sup> 未満
その他	Grade3以上の非血液毒性 上記の場合、90mg/m <sup>2</sup> →60mg/m <sup>2</sup> →中止		

## 投与中止の基準

ANC	1000/mm <sup>3</sup> 未満	PLT	7.5万/mm <sup>3</sup> 未満
Cr	2.0mg/dL以上	T-bil	2.0mg/dL以上
その他	Grade1以上の心不全、Grade3以上の左室収縮機能障害 その他Grade2以上の非血液毒性(投与再開は)		

## 投与速度減速の基準(ガザイバ)

infusion reaction	
Grade2以下	投与中断または、投与速度を下げて適切な処置を行う 投与を再開する場合は、中断前の半分以下の速度とし、その後infusion reactionが認められなかった場合、以下のように投与速度を上げることが出来る。 *infusion reaction発現時、第1サイクルの投与方法で投与していた場合:30分毎に50mg/hr(12.5mL/hr)ずつ最大400mg/hr(100mL/hr) *infusion reaction発現時、投与時間短縮方法で投与していた場合:最大900mg/hr(225mL/hr)
Grade3	投与中断前の半分以下かつ、400mg/hr(100mL/hr)以下の速度とすること。その後、infusion reactionが認められなかった場合、50mg/hr(12.5mL/hr)ずつ最大400mg/hr(100mL/hr)まで上げることができる。

## 投与中止の基準(ガザイバ)

infusion reaction	
Grade2以下	投与中断または、投与速度を下げて適切な処置を行う
Grade3	投与を中断し適切な処置を行う。回復後、再開可能。
Grade3の再発、Grade4	投与を直ちに中止し適切な処置を行う。再投与しない

1クール期間 28日

総クール数 6クール

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
1サイクル目				
オビヌツズマブ(ガザイバ)	1000mg/body	NS計250mL	初回は12.5mL/hrから漸増 <sup>※</sup>	d1, 8, 15
ベンダムスチン(トリアキシン)	90mg/m <sup>2</sup>	NS250mL	60分	d2, 3 (投与時間はいずれかを選択)
		NS50mL	10分	
※第1サイクルの投与方法 初回:オビヌツズマブ(ガザイバ)の投与速度は50mg/hr(12.5mL/hr)で開始し、30分毎に50mg/hr(12.5mL/hr)ずつ、最大400mg/時(100mL/hr)まで上げることができる。 2回目(day8)、3回目(day15):前回の投与でGrade2以上のinfusion reactionが発現しなかった場合は、100mg/hr(25mL/hr)で開始し、infusion reactionが認められない場合は、30分毎に100mg/hr(25mL/hr)ずつ最大400mg/時(100mL/hr)まで上げることができる。				
2サイクル目以降				
オビヌツズマブ(ガザイバ)	1000mg/body	NS計250mL	25mL/hrから漸増 <sup>※2</sup>	d1
ベンダムスチン(トリアキシン)	90mg/m <sup>2</sup>	NS250mL	60分	d2, 3 (投与時間はいずれかを選択)
		NS50mL	10分	
※2 投与時間短縮方法 1サイクル目でGrade3以上のinfusion reactionが発現しなかった場合は、最初の30分は100mg/hr(25mL/hr)で開始し、その後最大900mg/hr(225mL/hr)まで上げることができる。				

1日投与順 (経時的に「プレ Medikation」・「ポスト Medikation」、溶解液まで含む)
1コース目 day1 ①ソルメドロール80mg+ボララミン5mg+アセリオ1000mg(30min) ②ガザイバ1000mg/body+NS計250mL(12.5mL/hrから漸増 <sup>※1</sup> ) インラインフィルターを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用) ④グラニセトロン3mg/バッグ(30min)*経過観察目的 ⑤トリアキシン90mg/m <sup>2</sup> +生食 250mL(60min) 又は、トリアキシン90mg/m <sup>2</sup> +NS 50mL(10min) ⑥生食50mL(フラッシュ用) day2 ①グラニセトロン3mg/バッグ(30min) ②トリアキシン90mg/m <sup>2</sup> +生食 250mL(60min) 又は、トリアキシン90mg/m <sup>2</sup> +NS 50mL(10min) ③生食50mL(フラッシュ用) day8, 15 ①ソルメドロール80mg+ボララミン5mg+アセリオ1000mg(30min) ②ガザイバ1000mg/body+NS計250mL(25mL/hrから漸増 <sup>※2</sup> ) インラインフィルターを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用)
2-6コース目 day1 ①ソルメドロール80mg <sup>※3</sup> +ボララミン5mg <sup>※4</sup> +アセリオ1000mg(30min) ②ガザイバ1000mg/body+NS計250mL(25mL/hrから漸増 <sup>※5</sup> ) インラインフィルターを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用) ④グラニセトロン3mg/バッグ(30min)*経過観察目的 ⑤トリアキシン90mg/m <sup>2</sup> +生食 250mL(60min) 又は、トリアキシン90mg/m <sup>2</sup> +NS 50mL(10min) ⑥生食50mL(フラッシュ用) day2 ①グラニセトロン3mg/バッグ(30min) ②トリアキシン90mg/m <sup>2</sup> +生食 250mL(60min) 又は、トリアキシン90mg/m <sup>2</sup> +NS 50mL(10min) ③生食50mL(フラッシュ用)
※3 前回投与中にGrade3以上のinfusion reactionが発生しなかった患者は主治医判断により省略可能 ※4 前回投与中にinfusion reactionが発生しなかった患者は主治医判断により省略可能